

各議員の賛否

平成30年12月定例会

区分	審議結果	議案名	議員名														
			深野良二	田口讓司	横山善美	山本一洋	奥村忠義	木村博文	石丸時次郎	山本久矢	川上康男	福本秀昭	梅田美代子	一木哲美	河内直子	田中政浩	
条例	可決	筑前町議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	(反対討論)河内:一人あたり月額19000円値上げの改正は、次期14名分と夏冬の手当を合わせると議員1名分の年間報酬に相当。前回議会の経費節減として行った議員定数2名の削減はなんだったのか。しかも議員は非常勤である。 (賛成討論)田中:報酬の見直しは10年以上見送られてきたが、県内町村との均衡、議員定数の2名削減などを勧案の上、審議会で審議されて答申されており、今後さらに献身的で真摯な議会活動を展開するための正当な議員報酬と判断する。	
		筑前町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		筑前町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	(反対討論)河内:ひとりあたり8990円、4人世帯では2万円もの増税。全国知事会・市長会・町村長会は、国保制度を守るために国に対し1兆円の負担増を要求している。町には財政調整基金が春日市とほぼ同額の24億円あり、全国自治体の要求実現を見るまでは税の引き上げではなく、財政調整基金を町民のために使うべき。 (賛成討論)深野:近年の赤字額は縮減されつつあるが、一般会計からの法定外繰入は続いており、これ以上の負担は国保加入者以外の方に理解を得るには限度がある。本町の医療費は県平均より高い水準であり、県からの繰入金解消指導もあるため、今後も運営は厳しいことが予想される。国保加入者にとって負担増は厳しいが、更なる医療費抑制対策に努めることを求め、今回の税率引き上げ改定はやむを得ない。
		筑前町分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		筑前町営住宅設置条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		筑前町防災会議条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		筑前町災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
筑前町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
補正予算	可決	平成30年度筑前町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		平成30年度筑前町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		平成30年度筑前町下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		平成30年度筑前町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		平成30年度筑前町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
その他	可決	権利の放棄(上水道にかかる件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		財産の処分(松延団地跡地)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
請願	採択	「少人数学級推進などの定数改善」「義務教育費国庫負担制度2分の1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
発議	可決	筑前町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	採択	「少人数学級推進などの定数改善」「義務教育費国庫負担制度2分の1復元」を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	可決	国民健康保険制度の財政基盤強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				

※議長 矢野勉は、賛否同数以外採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席。